



一貫コース通信

先輩をも超えて

桜の開花に祝福されて、新たに福島成蹊中学校に23名が、高校には397名が入学しました。新入生諸君入学おめでとう。中・高生が集う学び舎を生かし『校訓』の体現者たる“魅力溢れる、問題解決能力を備えたヒト”となるべく、共に励んで参りましょう。その為にも、先輩は後輩に対し思いやりの心を、後輩は先輩への尊敬の念を持って下さい。

さて、本年は開学から109年目を、一貫教育も14年目を迎えました。本学が一世紀を超え発展出来た要因は『桃李の精神』を堅持しながらも、常に時代に合った努力を続けて来たからに他なりません。これを表す格言“不易流行(ふえきりゅうこう)”は、物事にはその本質として変えてはならないものがある一方、時代と共に変化しなければならない理(ことわり)のある事を教えてくれます。

現在、本校の中高一貫教育の理解は、卒業生の頑張りとそれを支える教職員の献身的な指導のお陰で深まって来ました。14年前に一貫コースの先輩達は、この地にか細い6ヶ年教育の道筋を刻みました。その一期生が3年生の春を迎えた時に東日本大震災が発生し、避難を余儀なくされた生徒も沢山居りましたが、それにも屈せず今日を迎えたのです。中学1年生は義務教育ではありますが、高い志を持ち本校の一貫コースを選択しました。この事は大いに意義がありますし、学問を旨とする選択をした諸君も多かった筈です。先輩達は志を全うすべく努力しました。その栄光の一端が玄関左翼に掲げられています。東京大・東京工業大・東北大・慶應義塾大・早稲田大…と続き、既に医学部医学科には11名が進学して居ます。諸君は、どの先輩の名前に自分の名を重ねるのか興味は尽きませんが、考えて見て下さい。先輩がここで成し遂げた事は必ず諸君にも出来るし、更にはそれをも超えた所へ行ける筈です。何故なら、それをサポートする優れた指導者が居るからです。

今春、8期生が卒業しました。全員(と言っても人数が少ないのですが)が国公立大学に合格し、また、新たな伝統を創りました。しかも、その多くは第一志望校を成就したのです。彼等は間もなく仙台・福島・東京の地で学びに入りますが、大きく成長する事を願っています。本日からこの偉業を達成した先生方が諸君を指導します。どうか、一日も早く互いに睦み合い(むつみあい)自分の成長に向け邁進して参りましょう。

『天分、これを持たない者が居ようか。

才能、単なる子供の玩具。

努力こそが人を“ひと”とし、

汗のみが天才を創る。』

—ドイツの詩人・テオドール・フォンタン—

